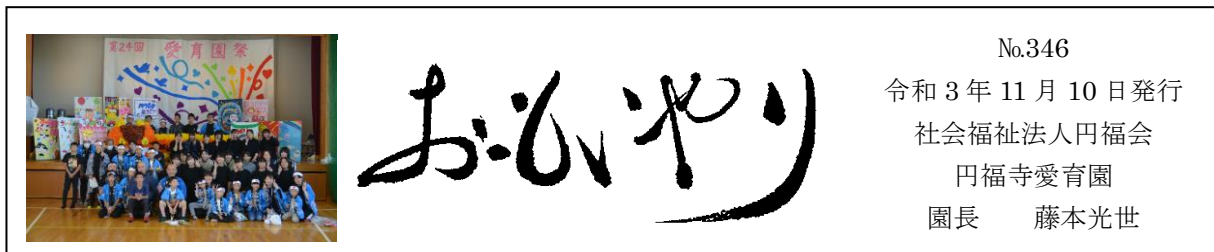


<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

愛育園祭、延期になった運動会の開催、盛りだくさんの月でした！



創造

園長 藤本光世

10月は運動会と愛育園祭がありました。

いずれも子どもたちと職員が一体となって創りあげた素晴らしい出来栄でした。運動会の小学生の組体操、中高生男子と男性職員の空手演舞、中高生と職員全員によるセンス演舞は、ホームページにYouTubeで掲載しますので、ご覧になってください。きっと感動していただけると思います。児童養護施設の子どもたちがここまでできることを、そして喜んで取り組んでいることをご覧になっていただきたいと思います。

扇子演舞は5年前の運動会で発表したものでした。運動会が終わってから、実行委員長の富澤主任指導員が、5年前のようにできるかと心配したけれど、もっと立派にできたと誇らしげに話していました。私は、子どもたちが立派になったからですよと話しました。細かな工夫があり、夜も朝も時間の合間を縫って練習して、立派な演舞になりました。

愛育園祭は、コロナの感染防止のために、食べ物系や室内系の出し物にお友達やお客さまをお呼びするのは止めて、開会式の、善光寺木遣りと扇子演舞と書道パフォーマンスを観ていただくことにいたしました。関係者や西横田の皆さまにご案内を申し上げたところ、大勢の皆さまがおいでくださいました。ありがとうございます。

子どもたちの発表はいかがだったでしょうか。じかに見ていただいて、嬉しいです。

小学校中学校の校長先生、役員の皆さま、ご挨拶をありがとうございました。



入場門と露店看板

書道パフォーマンスは石崎主任保育士が「やりたい」と言って始まり、子どもたちと共に創りあ

(令和3年11月10日発行 月刊「円福」494号付録)

げてきました。でも、今年は担当をまごころホームの職員に任せました。一度だけ、もっと華やかに楽しくと助言したら、子どもたちと職員と一緒に考えて立派な作品ができました。作品が大成功にできた脇で、担当の職員が感動している姿がありました。とっても良かったと思いました。

体育館では、入口に第24回愛育園祭のアーチが作られ、子どもたちと職員が工夫した露店の看板が子どもたちを待っていました。出し物はたくさんあって、どれも楽しいのです。入って左側には、ジェットコースターがあります。今年は、誘われて乗ってみました。スリル満点でしたよ。お昼は、女の子の出し物の綿あめやディズニーチュロスなどを、搗き立ての柔らかいお餅と豚汁と共にいただきました。それぞれとっても美味しかったです。終わってからの感想会もみんなの思いが込められていて、愛育園祭が普段の生活にきっと生きると思いました。



右上の車に乗って出発 トンネルをくぐって終点です。

運動会や愛育園祭の具体的な様子は職員や子どもたちの文をお読みになってください。一生懸命に準備して、素晴らしい運動会と愛育園祭を創りあげた子どもたちと職員 万歳！！

第24回愛育園祭

主任指導員 富沢正樹

8月の「キャンプ」、9月の「運動会」、そして10月の「愛育園祭」。2学期は大きな行事が怒涛の様に行われます。行事の中で子ども達は力を伸ばしたり、新たな自分を発見して成長していきます。どの行事にも共通するのは「本気、全力でやる」という事ですが、私はそれに加えて、各行事毎にテーマを掲げるようにしています。

愛育園祭の意義、それは「感謝の気持ちを表す」という事です。園の子に限らず、子どもというのは、施設(家庭)内だけでなく、地域や学校などの多くの方に支えられて育っていきます。そういう方々へ自分達の成長を扇子演舞や書道パフォーマンスなどの発表や、アトラクションや食べ物の出店の準備をしておもてなしという形で伝え表す事は、子供にとって大切な心の養育につながると考えています。



今年のテーマは「彩～IRODORI～」にしました。コロナの影響で今年も多くの人を呼ぶことはできず、感謝の気持ちを表す相手が例年よりも少なかったです。でも、感謝の気持ちを表す事に相手がいるとかいないとかは関係ないという事を昨年の愛育園祭で学んだ私たちは、華やかで、明るくて彩り豊かな空間を作ろうと、巨大なステージバック、花環の入場門、各出店の大看板、花紙のネコバスなど様々な装飾物を子ども達と作りました。体育館に全て配置したら、まさに遊園地みたいになって、彩り豊かなその場に立っているだけで楽しい気持ちになりました。

テーマを「彩」にしたのにはもう1つ理由があって、「人が喜んでくれると嬉しい気持ちになって、色鮮やかな気持ちになる。」そんな体験をしてほしいと思ったからです。子ども達は、何か行事があったらその時だけ頑張るという事はしません。毎日頑張っています。規則正しい生活を心がけて、勉強や部活をやって、将来の事について話し合っ、忙しい毎日を送っています。時に「何の為にやっているのだろう」と思う事もあると思います。だからこそこういう機会に、「自分のやっている事で喜んでくれる人がいる。喜ばせられる力が自分にはついてきている。」という事を感じさせてあげたいのです。そして、自分が嬉しい気持ちになるという事は、人の為にやっている事が実は自分を喜ばせる事だったんだと知って欲しいのです。

愛育園運動会の時と同様に、そんな想いを共有してくれた先生方が子ども達と一生懸命に準備を進めてくれました。中学生以上になると出店を担当するようになります。アトラクション系の出店はジェットコースターから始まって、どれもこれも制作するのにかなり大掛かりで大変でしたが、わくわくしながら楽しそうに6つもアトラクションを完成させてくれました。前日準備の時に出来上がったアトラクションで遊び惚けている中学生の男の子が2人ほどいたので「これまで一生懸命準備してくれてくれたのはわかってるよ。でもね、みんな(小学生)が当日まで楽しみにしていて我慢している事を係にかこつけて自分たちが率先して遊んでいたらそれは残念だよ。」と注意をしました。2人ともバツが悪く拗ねていましたが、時間が経ったら気を取り直して、今度はまた一生懸命準備をしていました。こうやって幼い心と少しずつ決別して行って、最後には人の事を優先して動ける人になっていってほしいなと思っています。

当日、地区の方や学校の校長先生が発表の部を見に来て下さいました。女の子達の書道パフォーマンスに感激されている方が大勢おり見て頂けて本当に嬉しかったです。女の子たちの緊張感が見ている方にも伝わってくる中、音楽にぴったりと合わせて素晴らしい作品を完成する事ができ、子供達にも担当した先生にも、きっと大きな充実感があつたのではないかと思います。

感謝の気持ちを伝える「愛育園祭」。今年も大成功だったと思います。人の為に頑張った事が巡り巡って自分に戻ってきて、きっと1人1人の心に彩り豊かな色が描かれたと思います。

大きな行事が終わり、子ども達はまた日常の中で積み重ねを大切に過ごしています。これからも子ども達と頑張っていきたいと思いますので、今後も変わらぬ応援を頂ければ幸いです。よろしくお願いいたします。

愛育園祭



まごころホーム 竹内早季

先日、第24回愛育園祭が行われました。今年度もコロナの影響で盛大にお客さんをお招きすることはできませんでしたが、運動会から引き続き練習してきた扇子の発表やまごころの中高生女子による書道パフォーマンスは来賓の方々や地区の方々に見て頂く事ができ、嬉しく思います。今回、私は書道パフォーマンスの担当として、子どもたちと練習を重ねてきました。例年通りなら、ま

ごころ職員も全員参加のところ、今回は人数の関係で中高女子10人と職員2人体制で臨むことになり、今までにない形で緊張もかなりありました。練習で初めて本番と同じ大きさの紙に音楽に合わせて書いてみたとき、全然形にならず、全員「どうしよう」と不安になる状態でしたが、主任から「見ていて懂れるような発表にするために、もっとみんなで意見を出し合った方が良い」とアドバイスをいただき、子ども達も「ここはもっと色を足したらどうか」「書く順番を変えたらどうか」とたくさんのアイデアを出してくれました。いい発表にしたいと思っていたのは子どもたちも同じだったんだなとあらためて感じました。そこから何度も変更をし、数日間で見違えるほどの出来に仕上げることができました。当日も、緊張感の中でしたが、全員が堂々とやり切り、今までで一番良いものを披露することができ、子どもと一緒に喜ぶことができました。行事を通して、たくさん子どもと時間を共有し、達成感を味わうことができ本当に良かったです。

愛育園祭

あおぞらホーム 畔上裕吾

今回の愛育園祭で私は模擬店でサイエンス工作を担当させていただきました。サイエンス工作は初めての試みで、今回はペットボトル空気砲を作ってもらいました。ペットボトル空気砲はペットボトルの底を切り、切った部分に風船を付けてその風船を引っ張り空気を出すという構造で、さらに的を画用紙で作し、空気の勢いで的を倒すというものです。ペットボトルに風船を付ける作業に苦戦する子どもたちが多く、こちらの準備不足と説明不足もあり難しい作業となってしまいました。ペットボトル空気砲が完成した後、夢中になって遊ぶ子どもたちの姿がみられ、大変嬉しく思いました。来年の愛育園祭の際もサイエンス工作があるのであれば、工夫を凝らし、さらにパワーアップしたものになれば良いなと思います。

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

愛育園祭 児童感想 あおぞら

10月24日愛育園祭がありました。今年はドキドキシーソーとエアホッケーが追加されました。あとは看板コンテストもやりました。ぼくは、ストラックアウトとバンクボーリングをやりました。射的で一等をあてました。そしてノートとシャーペンをもらいましたが、すごくおしかったです。お昼は色々な物をまごころさんが作ってくれました。すごくおいしかったです。その後看板コンテストでは、僕たちのグループが優勝しました。

(中1・R君)

愛育園祭



僕にとっては2回目の愛育園祭でした。去年の6年生の時は『楽しむ』でしたが、今年から中学生になって、アトラクションの係(ドキドキシーソー、バウンドホッケー)もやったので、みんなを楽しませるという気持ちがありました。今年の愛育園祭のテーマは『いろどり』です。ぼくは、今年の愛育園祭がいろどり豊かになるように、準備を頑張りました。まず、力を入れたのは、ポスター作りです。主に色ぬりを頑張りました。きれいにぬることができ、ポスターを完成させることができました。ぼくは、愛育園祭の前日に「木遣り」というのを任されました。音ていや、大きな声で言うことをいしきして練習しました。そして、本番に大きな声ではっきり言えたので良かったです。露店では、小学生たちを楽しませることができてよかったです。去年の「楽しい」とはまたちがった「たのしい」の愛育園祭でした。

(中1・Y君)

愛育園祭 児童感想 まごころ

愛育園さい

愛育園さいをやりました。アトラクションではジェットコースターやエアホッケーやドキドキシーソーやサイエンス工作やしゃてきなどをしました。いろんなものであそべて楽しかったです。この後に、ごはんを食べました。シェイクとわたあめがいちばんおいしかったです。また、愛育園さいやりたいです。

(小2・Y君)

第24回愛育園祭

10月24日第24回愛育園祭がありました。今回の愛育園祭は「彩」でした。私が特に印象に残っているのは、書道パフォーマンスです。私は今回で2回目の書道パフォーマンスで、去年は円福寺愛育園の所を書きましたが、今年は言葉の文字を書きました。不安だったのが、文字が多いのと字のバランスです。また、言葉を覚えるのがすごく大変でした。本番までにできるのか心配でしたが、しっかり書く事ができました。すごく緊張しました。とても良い発表になれたので本当に嬉しい気

(令和3年11月10日発行 月刊「円福」494号付録)

持ちでいっぱいです。その後、露店を回りました。昨年よりレベルUPしていてとても楽しかったです。また、お昼食では私たちが作ったものを食べました。どれもおいしくて幸せでした。お腹いっぱい食べれて良かったです。彩豊かでカラフルな愛育園祭になったので良かったです。来年は今年よりも良い行事になるように頑張りたいです。



(中2・Rさん)

第24回愛育園祭



今日は愛育園祭がありました。その中でも特に思い出に残っていることは、2つあります。

1つ目は、扇子です。運動会でもやりましたが、2回目でもとても緊張して何回か間違えてしまいました。しかし前回と負けず劣らずきれいにそろった演舞を行うことができました。運動会ではあまりお客さんに見てもらうことが出来ませんでした。今回は沢山のお客さんに見てもらうことができ嬉しかったです。2つ目

は書道パフォーマンスです。今回は本当にギリギリまで変更が多く、本当に上手にできるのかとても心配でした。しかし、前日には、ほとんど曲の中で書き終えることができました。そして本番では緊張しながらも、今までで一番よい作品を完成させることができました。初回では全然出来ておらず、厳しく注意されてしまいましたが、本番では成功できて良かったです。今年で最後の愛育園祭でしたが、一生懸命取り組むことができて良かったです。来年はコロナがおさまって愛育園祭に来られたらうれしいです。

(高3・Aさん)

第6回 愛育園大運動会



主任保育士 石崎早織

9月に予定されていた運動会が延期となり、10月3日快晴の下開催されました。運動会が一週間伸びてしまったことで、最初は少し子どものモチベーションが下がってしまいましたが、応援合戦の練習を中心に、もう一度みんなの心を一つにし、本番まで準備を進めてきました。運動会当日はみんなのやる気が表情を見るだけでも伝わりました。会場に着くとすぐに準備に取り掛かります。子どもたちの動きの速さに助けられ、予定よりも早く準備を終えることができました。いよいよ運動会のスタートです。実は私にはこの運動会に向けてもう一つの目標がありました。それは「赤組優勝！」です。私は運動会行事がスタートしてから、赤組の主将をやらせてもらっています。最初は好調に勝っていましたが、

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

ここ数年は負けが続いており、白組が3勝2敗、赤組が2勝3敗という結果だったので、今年は何が何でも優勝をするしかありませんでした。綱引き、竹引き、オールスターリレーなど、作戦が大事になる競技は私は苦手で、いつもこの3競技は白組に負けていました。白組主将の富澤先生はどのような作戦を立てて勝っているのか……。勝てるコツを聞きましたが、やはりそこは企業秘密ということで、教えてもらえませんでした。そこでインターネットを使ってたくさん調べ、作戦を立てました。綱引きはとにかく姿勢を低く、相手の出方を見ながら耐える！竹引きは足の速い子を先頭にグループを作って攻める！オールスターリレーはなるべく足の速さに差が出ないように順番を組む！この作戦で今年は勝負に挑みました。その結果綱引きは2勝しましたが、竹引き、オールスターリレーは残念ながら負けてしまいました。しかし、子どもたちの「絶対勝ちたい」という気持ちで全力で戦ってくれたので、どの競技もやり切った気持ちでいっぱいでした。

そして次は応援合戦です。前月のおもいやりでも書かせていただきましたが、私は小学生の組体操を担当しました。練習ではほぼ完璧だったので、あとは本番堂々とやるだけです。子どもたちの顔は少し緊張しながらも、笛の音をよく聞いて、練習通り一つ一つの技を決めていきます。練習の時に苦戦していた「かえる倒立」も完璧に決まりました。

1人技から2人技とどんどん技の難易度も上がり、見ている私もドキドキでした。3人技5人技を終え、残すところは全員技です。全員技では「波」「デコレーションピラミッド」に挑戦しました。波は全員が腕を組み順番に体を倒し波を表現します。高学年は何となくタイミングがわかるのですが、低学年には少し難しく言葉で説明してもよくわからず。子どもたちにとっては難しかったと思います。でも練習を重ねていくうちになんとか「波」に見えて、本番では一番きれいな「波」の技ができました。また最後のデコレーションピラミッドも素晴らしい完成度で堂々と胸を張っている子どもたちの顔を見て、とても感動しました。子ども達と本番に向けて練習してきた3週間は私にとってもとても良い時間を過ごすことができ、子どもたちには感謝しています。

そしてすべての競技が終わり、いよいよ結果発表です。全員が緊張する中、67対68で赤組の優勝です！と聞いた時赤組の全員が「やったー！」と本気で喜んでいました。あと1点差といういい勝負でしたが、今年は赤組が優勝することができ、とっても嬉しかったです。ただ勝つことだけがすべてではなく、一つ一つの競技に全力で臨めたこと、準備から片付けがしっかりできたことなど、すべてがとっても良く、素晴らしい運動会になりました。

愛育園大運動会

あおぞらホーム 金井雄大

9月に行く予定だった、運動会は雨の影響で延期になりましたが、無事10月3日に行くことができました。応援合戦では小学生の組体操、中高職員の演舞と、予定が一週間伸びた分、完成度をあげることができました。

(令和3年11月10日発行 月刊「円福」494号付録)

それぞれの種目では、赤白両者ともいい勝負をして、勝ったり負けたりが続き、最後の選抜リレーとオールスターリレーを残して点差はわずかでした。選抜リレーは赤組が勝ち、オールスターリレーでは白組が勝つことができました。

最終結果は、赤組が僅差で優勝しました。自分は白組だったのでとても悔しかったですが、子ども達と思いっきり熱くなって競技をすることができてよかったです。



愛育園大運動会 児童感想 あおぞら
運動会

ぼくはカエルとう立がさいしょできませんでした。だけどへやで練習してできるようになりました。本番では、えいこうのかけはしで1番を取ることができてうれしかったです。

(小5・H君)



10月3日に運動会がありました。ぼくは空手のえんぶをやりました。ぼくは、先頭に立ってやりました。とてもきんちょうしたけどたくさん大きな声でできました。みんなとそろって大成功でした。次にせんすのえんぶをやりました。とても楽しかったし、みんなが

「すごかった」と言ってくれてよかったです。せんすでは、先頭ではなかったけど、頑張りました。短距離走では、おしくも2位でしたが、頑張りました。マラソンでは、総合9位でした。頑張りました。パン食い競争ではメロンパンをゲットしました。結果白67赤68で負けましたが、いい試合でした。また来年リベンジしたいです。

(中2・R君)

第6回愛育園大運動会～心を燃やせ～

10月3日に運動会がありました。本当だったら9月26日に行われる予定だったけど1週間遅らせてやりました。まず最初に、短距離走をしました。1位を取ることができました。玉入れでは練習のときから一度も勝つことがありませんでした。1回戦目は負けてしまったけど、2回戦目は勝ちました。応援合戦では、扇子を使ってやりました。最初のあおぞらだけでやる形はとても不安でしたが、成功することができて良かったです。



扇子でも失敗することなくできました。最後の鼓動ダンスは少し間違ってしまったけど、最後まで楽しんでできました。マラソンでは1位をとることができて良かったです。全力で走ったので頭がクラクラしました。紅白代表リレーでは最初は負けていましたが、自分の所で抜いて白組が勝

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

ちました。最後の全員リレーはまけてしまいました。結果発表の時は勝ったか負けたかとてもドキドキしましたが、1点差で白組に勝ちました。とても疲れた1日でしたがとても楽しい一日になったので良かったです。

(中2・Y君)

愛育園運動会 児童感想 まごころ 運動会



10月3日に運動会がありました。雨で1週間延びてしまったけど、ちゃんとやる事ができて良かったです。私が今回の運動会で特にがんばったものは、応援合戦です。最初動画を見た時、本当にできるようになるのかとても心配でした。だけどみんなといっぱい練習して、できないところは教えてもらって少しずつできるようになったときはとてもうれしかったです。初めは絶対ムリだと思っていたけど、本番前にはほとんどできるようになってよかったです。本番では、少し間違えてしまったところがあったけれど、最後までできて良かったです。とても達成感がありました。他の種目ではパン食い競争、二人三脚で、練習ではグダグダで、当日も「絶対ムリじゃん」など、Hちゃんと言っていました。スタートしてMちゃんたちのペアはグングン先に行っちゃって、勝てる気がしないはしていなかったけど、パンをとる所で追い抜いて、勝った時はとてもうれしかったです。マラソンでは、一度も歩かずに最後まで走りきることができてよかったです。竹引きや、綱引きなども全力で頑張れたのでとても楽しかったです。結果、白組は負けてしまったけど、みんなで協力できてとてもいい運動会だったと思います。

(中2・Uさん)

「第6回愛育園大運動会 開催」

私にとって、最後の運動会なので「笑顔で赤組勝利！」を目標に準備してきました。あいにくの雨で予定日より1週間遅くなってしまいましたが、その1週間で完成度を上げることができました。

赤組の団結力で綱引きは2試合制とも勝つことができ、とても嬉しかったです。橋本先生とやったパン食い競争では、パンの前まではリードしていましたが、パンが取れず笑いながらゴールしたのが印象に残っています。競技自体も思い出深いですが、次の2つもいいなあと思いました。

1つは、応援です。自分の組の応援はもちろん、マラソンやその他の競技で「頑張れ」と応援していて、自分も勇気づけられました。

もう1つは、準備と片付けです。準備するときなどに雨が降っていても、自分から動いて「手伝う？」と言う人が多かったと思います。運動会で使うのは重い物が多いです。まごころ、あおぞらどちらも積極的に手伝っていてとても良い雰囲気でした。

もうすぐで愛育園祭が始まります。書道パフォーマンスがとても楽しみです。良い愛育園祭にな

(令和3年11月10日発行 月刊「円福」494号付録)

るため、日頃から気を付け生活していきたいです。

(高3・Aさん)

あおぞらホーム日より

あおぞらホーム 山田忍

夏から秋にかけて愛育園の三大行事である「愛育園キャンプ」「大運動会」「愛育園祭」が次々と開催されました。キャンプは今年初めての場所である小田切錬成センターで行われ今までは勝手が違う中でも子供たちの適応能力は高く、まるで何度も来ているかのようにすべてが滞りなく無事に開催することが出来たことに感動しました。大運動会も当日は雨で一週間延期になりましたがその日は快晴となり延期になってよかったなというくらい天候に恵まれました、応援合戦は何週間も前から子供たち全員で取り組み、練習時間以外の時間でも自主練をしたいと言って前向きに頑張っていたその頑張りが快晴の空の下で花開いたことに感動し少しウルッと来てしまいました。そのほかの準備で竹の切り出しや設営、力仕事に中高生たちが積極的になってくれたことが何より成功の要因だと思っています。そして休む間もなく愛育園祭に突入しました、運動会が延期になり愛育園祭まで慌ただしかったですその分子供たちの「運動会」への気持ちをそのまま愛育園祭へと引き継ぐことが出来ていたように感じました、今年初めての試みの看板コンテストもみんなで試行錯誤して完成した看板のおかげで愛育園祭が今まで以上に華やかになりとても盛り上がり、運動会の応援合戦も今度は大勢のお客さんお前で披露することが出来ました。

どの行事も子供たちが同じ方向に向けて全員で力を合わせないと成功することができません、改めて愛育園の集団の力は凄いな、と感じましたそれを誇りに思えるそんな三大行事でした。

まごころホーム日より

まごころホーム 田中沙季

日中暖かい日もありますが日に日に寒くなり、風邪の子が増えてきたり衣替えをしていると冬が近づいてきているなど感じます。さて、10月は愛育園の中でも大きな行事である、愛育園大運動会と愛育園祭が行われました。愛育園大運動会は9月末に行われる予定でしたが、あいにくの雨模様だったため一週間延期し10月に行われました。練習からみんな気合十分で、応援合戦も中高生は扇子を使った演舞で難しいものでしたが、全体で行う練習以外にも自主練をたくさんしたり、振り付けを覚えた子が他の子に振り付けを教えている姿もあり、どんどん上達していきました。小学生は組体操を行いました。低学年の子もいる中で難しい技もたくさんあり、初めは怖がってうまく出来ない子もいましたが、練習を重ねていくうちに自信が付き完成度が高くなっていきました。本



番では中高生も小学生も練習の成果を発揮し大成功となりました。

愛育園祭はすっきりとした秋晴れの中開催することが出来ました。今年も露店にお客さんを招待することは出来ませんでしたが、開催式はお客さんにも見て頂くことができました。個人的な話になってしまいますが、私は今年書道パフォーマンスの担当をさせて頂きました。どんな作品にしようか考える事も大変でしたが、練習が始まってなかなか良いものが作れず、直前に書く順番や背景のデザインを変更するなど、子どもたちは急な変更ばかりで大変だったと思います。そんな中でもみんなで意見を出し合ったり、それぞれ反省点を見つけて改善する姿勢が見られたり、書道パフォーマンスをよりよいものにしたいという気持ちが感じられました。分量も多く難しかったとは思いますが、本番はとても緊張しました。それでも練習した成果を発揮して一番いい作品に仕上げることが出来ました！とても大変でしたが成功させることが出来て本当によかったなあと思いました。

どちらの行事も子ども達の一生懸命さや、協力し合う姿をたくさん見ることが出来た行事となりました。行事に向けての準備や練習から最後の片付けまで一生懸命に取り組めるところはとても良い所だと思います。この一生懸命さを普段の生活にも活かして行って欲しいなと思います。

調理室だより

調理員 松本智草

今年も残すところあと2カ月余りとなりました。心配していた運動会も無事に開催され、子供達の一生懸命頑張る姿に大きな感動をもらいました。そして「愛育園祭」では、あおぞらの木遣りやまごころの書道パフォーマンスなどが立派に演じられ、練習時間の無い中で本当に頑張ったんだなあと感心するばかりでした。

私達調理員も、腕によりをかけて頑張りました。

10月1日(金) 中学生お弁当(桐章祭):卵焼き・鶏の唐揚げ・ボイルウインナー・マカロニサラダ・ブロッコリー・ミニトマト・さけるチーズ

10月3日(日) 愛育園運動会(昼食):カレーライス・サラダ・ジュース
園長先生より ショートケーキ

10月16日(日) Iさん誕生日メニュー:卵とじそうめん・鶏の唐揚げ・海藻サラダ・チーズケーキ

10月24日(日) 愛育園祭:おもち・豚汁・(まごころと一緒に)唐揚げ・ふりふりポテト・(まごころ)シェイク・綿あめ
以上